

1. 対象製品
内部収納可動棚用ブラケット 略称：CjK ブラケット
2. 標準(共通)化の部位
内部収納可動棚用ブラケットの標準(共通)化の部位を図1に示す。

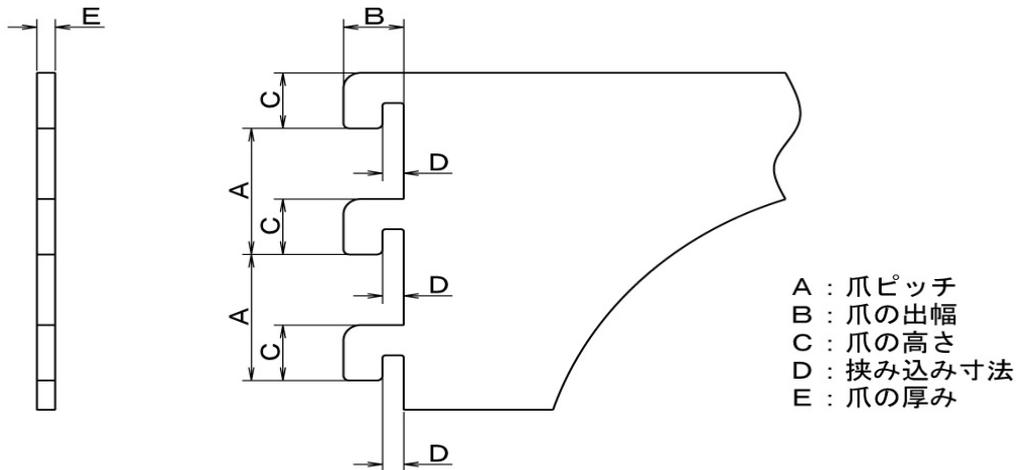


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状
内部収納可動棚用ブラケットの標準寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : 爪ピッチ	2.5
B : 爪の出幅	9 ≤ B ≤ 10.6
C : 爪の高さ	1.1 ≤ C ≤ 1.3.2
D : 挟み込み寸法	2.1 ≤ D ≤ 4
E : 爪の厚み	2.6 ≤ E ≤ 3.2

4. 表示方法
印刷物・電子媒体などに、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。
5. 特記事項
爪の個数は、製品によるものとし、規定しない。棚板設置時、棚板が傾かない形状とする。
一枚の棚板などには、同じ形状のブラケットを使用することを前提としている。
同じ形状のブラケットとは、左右対称形状のものも含む。
棚板の奥行や幅や固定方法を規定するものではない形状とする。
6. 解説
本ブラケットは、CjK棚柱の使用を前提とする。
棚板を固定するブラケットの棚板の固定方法には、図2や図3に示す方法があり、事前に検討する必要がある。図2の場合は、棚板の奥行を規定しているので、特に注意が必要である。その他には、棚板の裏面に穴や溝等を付け嵌合させるものもあり、やはり注意が必要である。

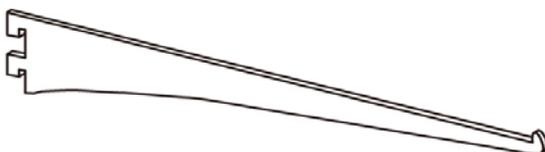


図2－ブラケットの種類

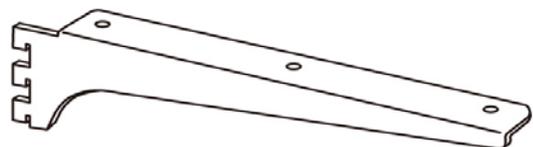


図3－ブラケットの種類

7. 共通事項

7.1 寸法について

- ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

- ・交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2016年4月28日改訂

- ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・表 1 の寸法基準値範囲を不等号表示に変更
- ・7.1寸法について記載内容改訂